

小児科

1. 一般的項目:

腎生検数

▶ 項目の解説

学校検尿などで発見される尿所見異常や腎機能障害は、慢性糸球腎炎などの基礎疾患を有している場合があります。腎生検による組織診断と重傷度評価を行うことによって、適切な治療を選択することが可能となり、予後の改善につながります。

▶ 定義

年間の腎生検症例数です。

コメント

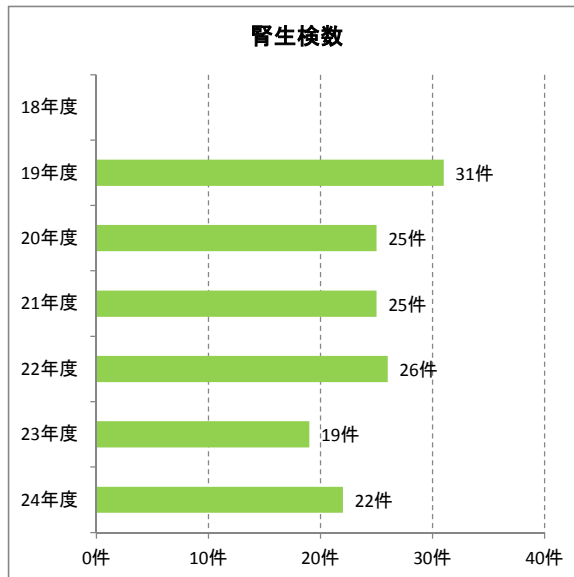
年20~30例程度の実施実績があり、宮崎県の小児腎疾患患者さんの早期発見、早期治療に努めています。

算式

実施数

単位

件



2. 大学病院特有項目:

自家末梢血幹細胞移植

▶ 項目の解説

本移植を通して、通常の化学療法よりもより強度の治療を行うことにより、原疾患の治療成績が向上します。

▶ 定義

年間の移植実施回数です。

コメント

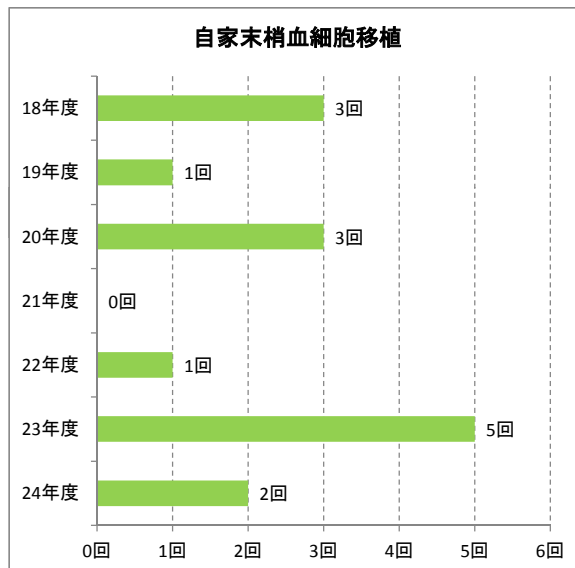
小児がんの治療成績向上に貢献しています。

算式

実施回数

単位

回



腹膜透析患者数

▶ 項目の解説

腎不全に対する腎代替療法として、小児では腹膜透析が選択されることが多く、近年、重症多臓器障害の患者に対する集学的治療の一つとして腹膜透析を行う機会が増加しています。また、小児慢性腎不全患者の場合、最終的には腎移植を行うことが望ましいと考えられますが、移植までの期間の維持透析として腹膜透析を行います。

▶ 定義

年間の実施数です。

コメント

急性腎不全や多臓器不全に伴う腎不全に対して集学的治療の一環として腹膜透析を行い、予後の改善に努めています。また、慢性腎不全に対して維持腹膜透析も行っており生命予後の改善に貢献しています。

算式

実人数

単位

人

